



2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月10日

上場会社名 ホソカワミクロン株式会社
 コード番号 6277

上場取引所

東

URL <http://www.hosokawamicon.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長
 代表執行役員

(氏名) 細川 悦男

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員
 総務・経理統括

(氏名) 井上 鉄也 (TEL) 072-855-2225

四半期報告書提出予定日 2019年5月13日

配当支払開始予定日 2019年6月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績(2018年10月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	28,299	4.2	3,279	4.6	3,367	8.0	2,366	22.5
2018年9月期第2四半期	27,162	17.7	3,136	44.4	3,118	35.5	1,932	18.1

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 854百万円(△39.3%) 2018年9月期第2四半期 1,407百万円(△53.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	291.53	290.59
2018年9月期第2四半期	235.99	235.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	60,105	37,138	61.6
2018年9月期	62,216	37,299	59.8

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 37,046百万円 2018年9月期 37,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	50.00	—	60.00	110.00
2019年9月期	—	55.00			
2019年9月期(予想)			—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	△1.5	5,600	△14.4	5,600	△15.9	4,000	△4.9	488.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社(社名)、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期2Q	8,615,269株	2018年9月期	8,615,269株
② 期末自己株式数	2019年9月期2Q	523,691株	2018年9月期	423,532株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期2Q	8,116,408株	2018年9月期2Q	8,186,692株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては、個人消費は堅調さを維持しているものの、財政政策による需要押し上げ効果の減少や、米中貿易摩擦及びNAFTAの見直しなどをを受け、設備投資が慎重化しております。欧州においては、英国ではBrexitをめぐる混乱が持続しており、経済混乱に備え在庫を積み増す動きが加速しております。ユーロ圏では個人消費に底堅さがみられるものの、ドイツでの海外向け製造業受注の低迷が続いており、輸出の減速が顕著になっております。日本においては、好調な雇用・所得環境が続いているものの中国経済の減速、欧州政局不安など海外情勢により景況感が悪化しております。

このような経済環境の中、業績は総じて堅調に推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間の受注高は305億4千2百万円（前年同期比4.6%の減少）、受注残高は277億4千7百万円（前年同期比10.3%の減少）、売上高は282億9千9百万円（前年同期比4.2%の増加）となりました。

利益面におきましては、営業利益は32億7千9百万円（前年同期比4.6%の増加）、経常利益は33億6千7百万円（前年同期比8.0%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億6千6百万円（前年同期比22.5%の増加）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<粉体関連事業>

当事業は、粉砕・分級装置、混合・乾燥装置及び日本市場においての大気汚染防止装置、製品捕集用集塵装置、精密空調制御装置等の製造販売、複合ナノ粒子を中心とした新素材開発とその商品化並びに微粉体受託加工サービスを提供するホソカワミクロングループの主力分野であります。

前年度後半から、医薬向けが復調傾向を示しているほか、ミネラル関連やリサイクル向け、アフターマーケット部門の受注は堅調に推移しましたが、前年度大型案件が続きました化学向け、電子材料や食品向け受注は反動減となりました。

これらの結果、受注高は231億2千3百万円（前年同期比3.2%の減少）、受注残高は197億3千2百万円（前年同期比5.7%の減少）となり、売上高は206億7千1百万円（前年同期比2.5%の増加）となりました。セグメント利益は26億4千7百万円（前年同期比5.1%の減少）となりました。

<プラスチック薄膜関連事業>

当事業は、単層から多層の各種プラスチック高機能フィルム製造装置の開発・製造・販売を行っております。

第2四半期連結累計期間としては過去最高となった前年同期を下廻ったものの、米国を中心に欧州、アジアなど、堅調な受注環境が続いております。

これらの結果、受注高は74億1千9百万円（前年同期比8.8%の減少）、受注残高は80億1千4百万円（前年同期比19.8%の減少）となり、売上高は76億2千7百万円（前年同期比9.0%の増加）となりました。セグメント利益は11億6千2百万円（前年同期比30.7%の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間末の財政状態については、前連結会計年度末に比べ、総資産は、現金及び預金の減少などにより21億1千1百万円減少し、601億5百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金や未払費用の減少などにより19億5千万円減少し、229億6千6百万円となりました。純資産は、為替が円高に振れたことによる為替換算調整勘定のマイナスが大きくなったことなどにより1億6千万円減少し、371億3千8百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ15億5千9百万円減少し、182億6百万円となりました。各キャッシュ・フローの概要は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、9億5百万円の資金の増加（前年同期比9億3千7百万円の減少）となりました。主に税金等調整前四半期純利益の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億5千7百万円の資金の減少（前年同期比3千万円の減少）となりました。主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、14億1百万円の資金の減少（前年同期比8億2千万円の減少）となりました。主に自己株式の取得による支出及び配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年2月8日に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,087	18,326
受取手形及び売掛金	12,329	12,996
製品	2,984	2,518
仕掛品	2,861	3,155
原材料及び貯蔵品	2,026	1,811
その他	940	923
貸倒引当金	△154	△114
流動資産合計	41,074	39,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,067	16,683
機械装置及び運搬具	11,113	10,566
土地	5,019	4,927
建設仮勘定	193	610
その他	2,111	2,155
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,493	△17,077
有形固定資産合計	18,012	17,866
無形固定資産		
のれん	71	47
その他	229	260
無形固定資産合計	301	308
投資その他の資産		
投資有価証券	1,874	1,318
繰延税金資産	743	811
その他	218	190
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	2,828	2,313
固定資産合計	21,142	20,487
資産合計	62,216	60,105

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,718	6,170
1年内返済予定の長期借入金	460	148
未払費用	3,017	2,356
未払法人税等	858	449
前受金	4,861	5,060
賞与引当金	480	345
役員賞与引当金	71	58
製品保証引当金	782	787
ポイント引当金	61	44
工場建替関連費用引当金	117	21
その他	1,760	1,982
流動負債合計	19,191	17,425
固定負債		
長期借入金	1,196	1,122
工場建替関連費用引当金	86	87
退職給付に係る負債	4,177	4,029
繰延税金負債	173	219
その他	91	82
固定負債合計	5,725	5,541
負債合計	24,917	22,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,496	14,496
資本剰余金	5,124	5,124
利益剰余金	22,901	24,776
自己株式	△1,870	△2,403
株主資本合計	40,651	41,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	426	120
繰延ヘッジ損益	△71	△34
為替換算調整勘定	△3,257	△4,538
退職給付に係る調整累計額	△534	△495
その他の包括利益累計額合計	△3,436	△4,947
新株予約権	84	92
純資産合計	37,299	37,138
負債純資産合計	62,216	60,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
売上高	27,162	28,299
売上原価	17,161	18,002
売上総利益	10,001	10,296
販売費及び一般管理費	6,865	7,017
営業利益	3,136	3,279
営業外収益		
受取利息	11	27
受取配当金	12	15
持分法による投資利益	25	38
デリバティブ評価益	0	41
その他	31	33
営業外収益合計	82	156
営業外費用		
支払利息	6	24
為替差損	61	24
その他	31	19
営業外費用合計	99	68
経常利益	3,118	3,367
特別利益		
固定資産売却益	16	34
投資有価証券売却益	—	5
特別利益合計	16	40
特別損失		
固定資産除売却損	10	47
工場建替関連費用引当金繰入額	—	31
特別損失合計	10	78
税金等調整前四半期純利益	3,123	3,328
法人税等	1,191	962
四半期純利益	1,932	2,366
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,932	2,366

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	1,932	2,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64	△305
繰延ヘッジ損益	△15	36
為替換算調整勘定	△593	△1,281
退職給付に係る調整額	20	39
その他の包括利益合計	△524	△1,511
四半期包括利益	1,407	854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,407	854
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,123	3,328
減価償却費	540	554
のれん償却額	21	21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△34
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△95	△135
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15	△12
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△120	41
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	4	△17
工場建替関連費用引当金の増減額 (△は減少)	△20	△95
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△21	△34
受取利息及び受取配当金	△24	△42
支払利息	6	24
持分法による投資損益 (△は益)	△25	△38
デリバティブ評価損益 (△は益)	△0	△41
固定資産除売却損益 (△は益)	△5	12
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,057	△1,013
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△925	100
仕入債務の増減額 (△は減少)	857	△333
前受金の増減額 (△は減少)	1,189	385
未払費用の増減額 (△は減少)	△346	△525
その他	93	△3
小計	3,177	2,140
利息及び配当金の受取額	23	192
利息の支払額	△6	△24
法人税等の支払額	△1,352	△1,403
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,842	905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△147	△1
定期預金の払戻による収入	263	195
有形固定資産の売却による収入	16	76
有形固定資産の取得による支出	△507	△661
投資有価証券の売却による収入	—	19
無形固定資産の取得による支出	△45	△71
その他	△6	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△426	△457
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△165	△376
自己株式の取得による支出	—	△532
配当金の支払額	△408	△491
その他	△6	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△581	△1,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	△307	△606
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	527	△1,559
現金及び現金同等物の期首残高	16,837	19,766
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,365	18,206

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年11月9日開催の取締役会における決議に基づき、当社普通株式100,000株を取得いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が532百万円増加し、単元未満株式の買取りによる取得を含め、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は2,403百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,165	6,997	27,162	—	27,162
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,165	6,997	27,162	—	27,162
セグメント利益	2,788	889	3,677	△541	3,136

(注) 1 セグメント利益の調整額△541百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,671	7,627	28,299	—	28,299
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,671	7,627	28,299	—	28,299
セグメント利益	2,647	1,162	3,809	△530	3,279

(注) 1 セグメント利益の調整額△530百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。